



### 白河が誇る優れた産品を紹介！

☎本庁舎農政課 内2225



白河ブランド  
認証第16号・17号  
なたね油・の  
でじまうどん



耕作放棄地を再整備して栽培した菜種と小麦を使用しています。

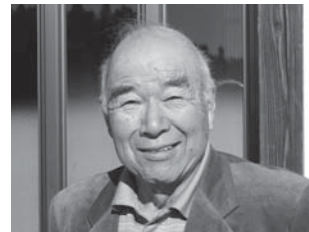
黄金色の「なたね油」は、昔ながらの薪焙煎・圧搾法で製造し、添加物は一切使用していません。悪玉コレステロールを減らし、動脈硬化や高血圧を予防するオレイン酸、リノール酸を豊富に含んでいます。

「のでじまうどん」は、コシが強く、濃い色合いと地粉ならではの深い味わいが特徴です。

#### ～自然の恵みを食卓へ～

野出島地域で栽培した菜種・小麦の本来の味や豊かな香りを楽しめる自然食品として、安定生産に取り組んでいます。

地域特産品のブランド力を活かして販路を拡大し、皆さんに食卓で味わっていただきたいです。



野出島地域活性化プロジェクト会長  
鈴木勝美さん

### 県ふるさと住宅移転（引越し）補助金

震災および原発事故で応急仮設住宅等に入居していた方が、自宅等へ移転した場合に掛かった費用に対し、補助金を交付します。

- 対象世帯 平成29年3月31日までに、県内外の応急仮設住宅等から、県内（県内避難世帯は避難元市町村）の自宅等へ移転した世帯
- 補助額
  - ▷県外からの移転 10万円（単身世帯5万円）
  - ▷県内からの移転 5万円（単身世帯3万円）
- 申請方法 ①応急仮設住宅退去等確認書を避難元市町村に提出し、確認を受けてください。  
※借り上げ住宅等の契約書、退去申請書等の写しの添付が必要です。
- 必要書類 ②次の必要書類を県へ郵送してください。  
自宅等移転完了報告書兼補助金交付申請書、応急仮設住宅退去等確認書（避難元市町村の確認を受けたもの）、自宅等移転後の公

共料金の領収書等の写し、補助金の入金口座が確認できる預金通帳の写し

- 申請期限
  - ▷避難元市町村への提出 移転完了日から3か月を経過した日の属する月の15日
  - ▷県への提出 移転完了日から3か月を経過した日の属する月の末日

※申請書は県ホームページから取得できます。  
※平成27年12月6日以前にすでに移転が完了し、応急仮設住宅等に2年を超えて居住していた世帯も対象になります。詳しくはお問い合わせください。

- ☎本庁舎建築住宅課 内2262 / 県被災者のくらし再建相談ダイヤル ☎0120-303-059 / 県避難者支援課 ☎024-521-8306 / 県ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16055b/furusatojutakuitenhojokin.html>



## 公民館教室の紹介

市内の4つの公民館（中央・表郷・大信・東）は、社会教育および生涯学習の拠点として、多くの市民の皆さんに利用されています。

今月号では、平成28年度受講生の募集に先立ち、教室の様子を紹介します。

☎中央公民館 ☎3810 / 表郷公民館 ☎2526 / 大信公民館 ☎2511 / 東公民館 ☎3159



▲新しくなった表郷公民館で陶芸に挑戦（福寿学級）

### 豊富なメニュー

現在、4館で49の教室を開講し、延べ950人の受講生が、それぞれ年間8回から12回の講座に参加しています。

「万葉集」「韓国語」「ハーブ」など専門的な教室や、「リフレッシュ」「トレーニング」など健康増進を図る教室など、多岐にわたっています。

小学生や高齢者を対象とする教室もあり、利用者にあわせたメニューがそろっています。

### 充実の講師陣

元大学教授やテレビでもなじみのある方、地元の達人など知識や経験豊富な講師陣が、学ぶ意欲にあふれる受講生の期待に応えています。

豊富な教材・資料、プロジェクター映像を活用しての講義や、体を動かしながらのエクササイズが、受講生の意欲をさらに高めています。

### 教室からクラブへ

「初級韓国語教室」「初めてのハーモニカ教室」が、新年度から公民館クラブとして定期的に活動することになりました。今後も、1つでも多くの教室がクラブとして新設できるように、支援していきます。



▲発表会に向けた練習（ハーモニカ教室）

平成28年度の募集案内は3月にお届けします。

### 受講生の声

韓流ブームなどの影響で、韓国語を勉強したことがあり、機会があればまた受講してみたいと思っていました。中央公民館で教室が開かれるチラシを見てすぐに申し込みました。

2年間の教室では、先生の韓国での生活体験・韓流ドラマの裏話・韓国料理・K-POPなど、身近なものを題材にした内容で、大変分かりやすく楽しむことができました。

受講生で白河韓流愛好会（SKA）を設立し、月1回、公民館クラブとして続けていきます。



おほはらたかこさん  
大原孝子さん

中央公民館では合唱のクラブで活動していますが、ハーモニカなら1人でも楽しめると思い受講しました。数字の楽譜や複音ハーモニカの独特なドレミの配列などに戸惑いながらも、公民館のクラブ発表会で初舞台を踏むことができました。

先生が主催する郡山での発表会にも参加しました。なかには、アマチュアとは思えない技術を披露される方もいて、「いつかは自分も」という夢が広がりました。



ひらのかずこさん  
平野和子さん